

(2022)

全運協新会長に板橋氏

丹澤氏、6期務め勇退



板橋新会長は「丹澤会長の後任は誰でも重圧になる。一人でも多くの方の力添えが必要」と協力を求めた(6月27日、東京・茅場町)

全国運転代行協会(丹澤忠義会長、167社)は6月27日、東京・茅場町の鉄鋼会館で通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、新会長に板橋勇二副会長(東武代行)・栃木)を選出した。板橋氏は54歳。就任に当たり、「業界のさらなる適正化・健全化と協会の発展に全力でまい進したい。丹澤会長を筆頭に、多

くの役員によって築き上げられた基盤を生かしたい」と抱負を述べた。丹澤氏は会長を6期12年務めた。退任を決意したことについて、本紙に「87歳と高齢になり、後進に道を譲りたい」と語った。新執行部に対し、「若い人たちの新しい意見を取り入れて、皆さんが安心して任せられる組織にしてほしい」と期



丹澤前会長(手前中央)を囲み、新役員が記念撮影

待を寄せた。今後は顧問として協会運営を支える。シ(エイ・ディ共済協同組合、J D共済、富山市)の理

事長職に関しては「来年までの任期を全うしたい」と話した。

議事では2021年度事業報告・決算を承認するとともに、定款を変更し、法人のみだった賛助会員の資格を個人にも広げた。

22年度事業計画の柱として新たに掲げたのは、運転代行業の健全化とサービス向上に向けたプロジェクトの推進。最低利用料金の設定など5項目の提案について、運転代行配車アプリ「AIRCLE(エアクル)」を開発・提供するAlpha Lab(アルパカラボ、沖縄県中城村、棚原生磨代表)と共同で取り組む。全運協と同社は19年に包括的連携協定を結んでいる。

また、上野真理事(中濃代行)・岐阜、6月17日付で退会)が「社員提案」した「金澤理事の解任」など六つの議案は、いずれも否決された。

新役員は次の通り(◎は

新任、敬称略)。

- 会長◎板橋勇二(栃木、東武代行)▽副会長▽辻哲也(滋賀、プロテック・アイ)◎加々美守(山梨、クレスト)▽専務理事◎金澤毅(員外)▽理事◎芳村昭彦(北海道、嗚呼!運転代行社)、小松信(秋田、DAIKO UGO)、佐々木尊邦(信州、NFC運転代行)、霜島雅一(神奈川、雅運転代行)◎神谷秀水(神奈川、クレストFC)◎高瀬朋宏(静岡、運転代行レインボー)、大原宜夫(奈良、AKI交通)◎新崎勝吉(沖縄、新崎運転代行)◎平安潤(沖縄、アットサービス)▽監事◎中山一夫(茨城、クリーン運転総合代行)、戎井重樹(員外)
- ◇ 板橋 勇二氏(いたばし・ゆうじ) 1967年6月5日生まれ、栃木県出身。92年東武代行創業。2006年に全国運転代行協会会長、木原支部長、12年に理事、18年から副会長。